

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（1～7組：登山）

使用教科書：（高等学校 新地理総合（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的な考察や深い理解をするために、意欲的に学習に取り組む姿勢を身に付ける。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。 ○地図やGISなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	○地形の形成要因や災害への対策、各気候ごとの人々の工夫等を諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。 ○時差やGISがどのように活用されているか等について諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。 ○気候、宗教歴史的背景や産業等がそれぞれの地域の生活とどのように関わっているのか諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。	○世界の各地形や気候、日本の災害や防災について意欲的に学ぶ。 ○時差、地図、GISや日本の領域等について意欲的に学ぶ。 ○世界の諸地域と気候、宗教、歴史的背景や産業等との関わりについて意欲的に学ぶ。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 世界の地形と人々の生活 【知識及び技能】 各地形とそれぞれの地形が人々の生活に与える影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各地形の形成要因を諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 各地形が与える影響について意欲的に学ぶ。	・指導事項 ・大地形と人々の生活 ・変動帯と人々の生活 ・安定地域と人々の生活 ・河川がつくる地形と人々の生活 ・海岸の地形と人々の生活 ・氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活 ・教材 ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 各地形とそれぞれの地形が人々の生活に与える影響を理解することができている。 【思考・判断・表現】 各地形の形成要因を諸資料やグループワーク等をもとに考察し、判断・表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各地形が与える影響について意欲的に学ぶことができている。	○	○	○	7
単元 自然環境と防災 【知識及び技能】 日本で発生する自然災害、またその発生要因について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各災害に対してどのような対策が必要か諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本で発生する災害、またその対策について意欲的に学ぶ。	・指導事項 ・地震・津波と防災 ・火山災害と防災 ・気象災害と防災 ・教材 ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 日本で発生する自然災害、またその発生要因について理解することができている。 【思考・判断・表現】 各災害に対してどのような対策が必要か諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本で発生する災害、またその対策について意欲的に学ぶことができている。	○	○	○	3
定期考査			○	○		1
単元 世界の気候と人々の生活 【知識及び技能】 各気候区の分布や特徴を人々の生活との関わりを踏まえて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各気候ごとの農業や人々の生活の工夫等を諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 各気候の特徴や気候ごとの人々の生活について意欲的に学ぶ。	・指導事項 ・気温・降水と人々の生活 ・大気循環と人々の生活 ・熱帯の生活 ・乾燥帯の生活 ・温帯の生活 ・亜寒帯・寒帯の生活 ・教材 ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 各気候区の分布や特徴を人々の生活との関わりを踏まえて理解することができている。 【思考・判断・表現】 各気候ごとの農業や人々の生活の工夫等を諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各気候の特徴や気候ごとの人々の生活について意欲的に学ぶことができている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>単元 世界の気候と人々の生活</p> <p>【知識及び技能】 東南アジアの自然環境の特徴を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 東南アジアで自然環境は産業とどのように結びついているのかを諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 東南アジア地域について意欲的に学ぶ。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・モンスーンの影響を受ける地域での生活</p> <p>・教材</p> <p>・教科書</p> <p>・地図帳</p> <p>・フォトグラフィア地理図説</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 東南アジアの自然環境の特徴を理解することができている。</p> <p>【思考・判断・表現】 東南アジアで自然環境は産業とどのように結びついているのかを諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現することができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 東南アジア地域について意欲的に学ぶことができている。</p>	○	○	○	4
	<p>単元 地図と地理情報システム</p> <p>【知識及び技能】 ・時差の仕組みや各地図の特徴、GIS利用の利点を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・時差が生活に与える影響や様々な地図の存在理由、GISが生活にどのように役立てられているか等を諸資料やグループワーク等をもとに考察し、判断・表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 時差や地図、GISについて意欲的に学ぶ。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・地球上の位置と時差</p> <p>・地図の役割と種類</p> <p>・教材</p> <p>・教科書</p> <p>・地図帳</p> <p>・フォトグラフィア地理図説</p> <p>・一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】 ・時差の仕組みや各地図の特徴、GIS利用の利点を理解することができている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・時差が生活に与える影響や様々な地図の存在理由、GISが生活にどのように役立てられているか等を諸資料やグループワーク等をもとに考察し、判断・表現することができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 時差や地図、GISについて意欲的に学ぶことができている。</p>	○	○	○	4
	<p>単元 結びつきを深める現代世界</p> <p>【知識・技能】 国家の領域や日本の領域を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現等】 日本の領域の特徴や排他的経済水域が日本に与える影響等を諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日本の領域や領土問題に対して意欲的に学ぶ。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・現代世界の国家</p> <p>・日本の位置や領域</p> <p>・教材</p> <p>・教科書</p> <p>・地図帳</p> <p>・フォトグラフィア地理図説</p> <p>・一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】 国家の領域や日本の領域を理解することができている。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本の領域の特徴や排他的経済水域が日本に与える影響等を諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現することができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 日本の領域や領土問題に対して意欲的に学ぶことができている。</p>	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	<p>単元 世界の言語・宗教と人々の生活</p> <p>【知識・技能】 世界宗教の特徴、分布や民族と言語の関係について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現等】 宗教と人々の生活の関わりについて諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 各宗教、言語やそれと関わる人々の生活について意欲的に学ぶ。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・世界の言語と人々の生活文化</p> <p>・世界の宗教と人々の生活文化</p> <p>・イスラームと人々の生活の関わり</p> <p>・ヒンドゥー教と人々の生活の関わり</p> <p>・教材</p> <p>・教科書</p> <p>・地図帳</p> <p>・フォトグラフィア地理図説</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 世界宗教の特徴、分布や民族と言語の関係について理解することができている。</p> <p>【思考・判断・表現】 宗教と人々の生活の関わりについて諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現することができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各宗教、言語やそれと関わる人々の生活について意欲的に学ぶことができている。</p>	○	○	○	5
	<p>単元 歴史的背景と人々の生活</p> <p>【知識・技能】 植民地支配など歴史的影響が残る地域の文化について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現等】 植民地支配などがどのように現在の文化に影響をしているのか諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 歴史的背景に影響を受ける地域について意欲的に学ぶ。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・歴史的背景が人々の生活に与える影響</p> <p>・移民の歴史と人々の生活の関わり</p> <p>・植民地支配の歴史と人々の生活の関わり</p> <p>・教材</p> <p>・教科書</p> <p>・地図帳</p> <p>・フォトグラフィア地理図説</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 植民地支配など歴史的影響が残る地域の文化について理解することができている。</p> <p>【思考・判断・表現】 植民地支配などがどのように現在の文化に影響をしているのか諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現することができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的背景に影響を受ける地域について意欲的に学ぶことができている。</p>	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

3 学期	単元 世界の産業と人々の生活 【知識・技能】 各産業の特徴、分布について理解する。 【思考・判断・表現等】 各国の工業発展の状況等を国の状況など諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 各産業の特徴等について意欲的に学ぶ。	・指導項目 ・人々の生活を支える農業の発展 ・人々の生活を支える工業の発展 ・グローバル化する現代の産業と人々の生活 ・経済成長による人々の生活の変化 ・教材 ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 各産業の特徴、分布について理解することができる。 【思考・判断・表現】 各国の工業発展の状況等を国の状況など諸資料やグループワーク等を通して考察し、判断・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 各産業の特徴等について意欲的に学ぶことができる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計

雪谷 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史

科目： 歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（6組：田口） （1～5、7組：船坂）

使用教科書：（現代の歴史総合 みる・読みとく・考える（山川出版社））

教科 地理歴史

の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的な考察や深い理解をするために、意欲的に学習に取りくむ姿勢を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○アジアと欧米の近代化について理解する。 ○二つの大戦による国際秩序の変化やそれに伴う大衆への影響について理解する。 ○冷戦やその後のグローバル化の各国への影響と現代の課題について、考察し、理解する。	○アジアと欧米の近代化について、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。 ○二つの大戦による国際秩序の変化やそれに伴う大衆への影響について、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。 ○冷戦やその後のグローバル化の各国への影響と現代の課題について、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。	○アジアと欧米の近代化について意欲的に学ぶ。 ○二つの大戦による国際秩序の変化やそれに伴う大衆への影響について意欲的に学ぶ。 ○冷戦やその後のグローバル化の各国への影響と現代の課題について意欲的に学ぶ。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	単元 近代化と私たち 1、結びつく世界と日本の開国 【知識及び技能】 アジア諸地域の発展と日本の関わりについて、経済的な面から多角的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の開国とヨーロッパの動きの関連性について、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米と日本の近代化について様々な観点から意欲的に学ぶ。	○指導事項 18世紀の東アジアにおける社会と経済、貿易が結んだ世界と日本、産業革命、中国の開港と日本の開国 ○教材 教科書、現代の歴史総合ノート、明解歴史総合図説シンフォニア、一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 アジア諸地域の発展と日本の関わりについて、経済的な面から多角的に理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の開国とヨーロッパの動きの関連性について、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米と日本の近代化について様々な観点から意欲的に学ぶことができる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	単元 近代化と私たち 2、国民国家と明治維新 【知識及び技能】 明治維新と当時の国際関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 明治維新と欧米の関りについて、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 既存の知識から明治維新や帝国主義、植民地などについてから意欲的に学ぶ。	○指導事項 市民革命、国民国家とナショナリズム、明治維新、日本の産業革命、帝国主義、変容する東アジアの国際秩序、日露戦争と東アジアの変動 ○教材 教科書、現代の歴史総合ノート、明解歴史総合図説シンフォニア、一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 明治維新と当時の国際関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 明治維新と欧米の関りについて、諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 既存の知識から明治維新や帝国主義、植民地などについてから意欲的に学ぶことができる。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>単元 国際秩序の変化や大衆化と私たち 3、総力戦と社会運動</p> <p>【知識及び技能】 一次大戦から戦間期における国際情勢の変化やそれに伴う人々の生活への影響について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 一次大戦が起きた理由を経済面・政治面から諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 一次大戦が大衆に与えた影響を意欲的に学ぶ。</p>	<p>○指導事項 第一次世界大戦の展開、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ヴェルサイユ体制とワシントン体制、世界経済の変容と日本、アジアのナショナリズム、大衆の政治参加、消費社会と大衆文化</p> <p>○教材 教科書、現代の歴史総合ノート、明解歴史総合図説シンフォニア、一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 一次大戦から戦間期における国際情勢の変化やそれに伴う人々の生活への影響について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 一次大戦が起きた理由を経済面・政治面から諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 一次大戦が大衆に与えた影響を意欲的に学ぶことができる。</p>	○	○	○	10
	定期考査	定期考査		○	○		1
2 学 期	<p>単元 国際秩序の変化や大衆化と私たち 4、経済危機と第二次世界大戦</p> <p>【知識及び技能】 第二次世界大戦前後の国際秩序と日本の民主的な改革について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦前後の国際秩序の変化や日本の民主的な改革について、グループワークを通じて考察し、判断・表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 大戦の時代が大衆に与えた影響を意欲的に学ぶ。</p>	<p>○指導事項 世界恐慌の時代、ファシズムの伸長と共産主義、ファシズムの伸長と共産主義、日中戦争への道、第二次世界大戦の展開、第二次世界大戦下の社会、国際連合と国際経済体制、占領と戦後改革、冷戦の始まりと東アジア諸国の動向、日本の独立と日米安全保障条約</p> <p>○教材 教科書、現代の歴史総合ノート、明解歴史総合図説シンフォニア、一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 第二次世界大戦前後の国際秩序と日本の民主的な改革について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦前後の国際秩序の変化や日本の民主的な改革について、グループワークを通じて考察し、判断・表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 大戦の時代が大衆に与えた影響を意欲的に学ぶことができる。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>単元 グローバル化と私たち 5、冷戦と世界経済</p> <p>【知識及び技能】 冷戦やその後のグローバル化の各国への影響と現代の課題について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の流れを諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代における世界や日本の課題とその解決策について意欲的に調査する。</p>	<p>○指導事項 冷戦下の地域紛争と脱植民地化、東西両陣営の動向と1960年代の社会、軍拡競争から緊張緩和へ、地域連携の形成と展開、計画経済とその波及、日本の高度経済成長、アジアのなかの戦後日本</p> <p>○教材 教科書、現代の歴史総合ノート、明解歴史総合図説シンフォニア、一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 冷戦やその後のグローバル化の各国への影響と現代の課題について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の流れを諸資料やグループワークを通じて考察し、判断・表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代における世界や日本の課題とその解決策について意欲的に調査することができる。</p>				10
	定期考査						1
							合計
							55

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

公民 科目 公共

教科： 公民

科目： 公共

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （ 1～7 組：伊達）

使用教科書： （ 詳述 公共（実教出版） ）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準			配当 時数	
			知	思	態		
1 学 期	単元 社会を作る私たち 【知識及び技能】 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 社会に参画する自立した主体についての自覚を深める。	・指導事項 ・生涯における青年期の意義 ・青年期と自己形成の課題 ・職業生活と社会参加 ・現代社会と現代の生き方 ・教材 ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 【思考・判断・表現】 他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	7
	単元 人間としてよく生きる 【知識及び技能】 自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深める。	・指導事項 ・ギリシアの思想 ・人間の尊重 ・個人と社会 ・主体性の確立 ・他者の尊重 ・公正な社会 ・教材 ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	単元 社会とは何か 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務などの基本的原理について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、基本的な原理について理解する。	・指導事項 ・人間の尊厳と平等 ・自由・権利と責任・義務 ・教材 ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、基本的な原理について理解しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>単元 民主国家における基本原理</p> <p>【知識及び技能】個人の尊重、民主主義、法の支配など、基本的原理について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解する。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権保障の発展と民主政治の成立 ・国民主権と民主政治の発展 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>単元 日本国憲法の基本的性格</p> <p>【知識及び技能】各人の意見や利害を公平・公正に調整し、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】合意形成や社会参画を視野に入れながら、協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】法や規範の意義及び役割などの現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の成立 ・平和主義とわが国の安全 ・基本的人権の保障 ・人権の広がり <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>単元 日本政治の政治機構と政治参加</p> <p>【知識・技能】現実社会の事柄や課題を基に、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現等】主題を設定し、解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を主体的に解決する。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治機構と国民生活 ・人権保障と裁判所 ・地方自治 ・選挙と政党 ・政治参加と世論 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成などに関わる現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	<p>単元 現代の経済社会</p> <p>【知識・技能】公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現等】経済社会について主題を設定し、考察したり、論拠をもって表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】市場経済に関わる現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済社会の形成と変容 ・市場のしくみ ・現代の企業 ・経済成長と景気変動 ・金融機関の働き ・政府の役割と財政・租税 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・地図帳 ・フォトグラフィア地理図説 ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】経済社会について主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら考察したり、論拠をもって表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】市場経済に関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>単元 経済活動のあり方と国民福祉</p> <p>【知識・技能】消費者問題、労働問題、社会保障などに関わる課題を基に、活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現等】現代の諸課題解決に向けて論拠をもって表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を主体的に解決する。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動のあり方と国民福祉 ・中小企業と農業 ・公害防止と環境保全 ・消費者問題 ・労働問題と雇用 ・社会保障 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】消費者問題、労働問題、社会保障などに関わる課題を基に、活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】現代の諸課題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>単元 国際政治の動向と課題</p> <p>【知識・技能】 国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現等】 国際社会が抱えている課題について協働的に考察し、それらを適切に表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際社会における現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決する。</p>	<p>・指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会における政治と法 ・国家安全保障と国際連合 ・冷戦終結後の国際政治 ・軍備競争と軍備縮小 ・異なる人種・民族との共存 ・国際平和と日本 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・プリント <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 国際社会が抱えている課題について協働的に考察し、それらを適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国際社会における現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	10	
	定期考査			○	○		1	
							合計	55

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科： 地理歴史 科目： 世界史探究 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組 D 組

教科担当者： （1組：福嶋 （D組：福嶋

使用教科書： （世界史探究 詳説世界史 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的な考察や深い理解をするために、意欲的に学習に取り組む姿勢を身に付ける。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
1 学 期	単元 【知識及び技能】 農耕・牧畜の開始から文明誕生の基礎について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地中海世界に関する資料から情報を読み取ったりまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 キリスト教、ユダヤ教といった一神教の歴史的特質の関係を多面的・多角的に考察し表現する。	・指導事項 ガイダンス（世界史学習の基礎） 古代文明の成立 西アジアと地中海周辺の国家形成 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ヨーロッパ世界の変容と展開 ・教材 詳説世界史、ウィニングコンパス 世界史図録 ・一人1台端末の活用 等	資料から情報を読み取ったり、まとめる技能を身に付けている。文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	20
	定期考査		○	○		1	
	単元 【知識及び技能】 中南米の先住民が短期間でスペインに征服された要因を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 一体化が始まった「世界」の性格を多面的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 17世紀におけるオランダの経済的な覇権獲得および衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。	・指導事項 大交易・大交流時代 アジア諸帝国の繁栄 近世ヨーロッパ世界の動向 ・教材 詳説世界史、ウィニングコンパス 世界史図録 ・一人1台端末の活用 等	オスマン帝国とサファヴィー朝がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのかを理解している。ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布を理解している。主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較しうえて理解している。オランダ・イギリス・フランスがそれぞれ持った有利な点や課題を理解している。	○	○	○	20
定期考査		○	○		1		
2 学 期	単元 【知識及び技能】 環大西洋革命の各事例を比較したうえで理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 環大西洋革命がヨーロッパ諸国に与えた影響を考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 産業革命が今日の社会に与えた影響をまとめる。	・指導事項 産業革命と環大西洋革命 ・教材 詳説世界史、ウィニングコンパス 世界史図録 ・一人1台端末の活用 等	産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのかを理解している。フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって実現したのかを理解している。	○	○	○	20
	定期考査		○	○		1	
	単元 【知識及び技能】 ウィーン体制がどのような国際秩序をめざしていたかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 1848年革命の影響について、多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 19世紀欧米文化の担い手や展開された場の推移をまとめる。	・指導事項 イギリスの優位と欧米諸国民国家の形成 ・教材 詳説世界史、ウィニングコンパス 世界史図録 ・一人1台端末の活用 等	19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。19世紀後半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、時代的背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。19世紀欧米文化の展開と近代諸科学の発展の経緯を理解している。	○	○	○	20
定期考査		○	○		1		
3 学 期	単元 【知識及び技能】 新しく生まれた発明が人々の日常生活に与えた影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 列強の植民地化による各地の社会や文化の変容を考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 列強体制の枠組みの変化を多面的・多角的に考察し表現する。	・指導事項 帝国主義とアジアの民族運動 ・教材 詳説世界史、ウィニングコンパス 世界史図録 ・一人1台端末の活用 等	第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。	○	○	○	20
	定期考査		○	○		1	
			○	○		合計 105	

雪谷 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

地理歴史 科目 日本史探究

教科： 地理歴史

科目： 日本史探究

単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 1・2・5・6組

教科担当者：（1・2・5・6組：西）

使用教科書：（詳説 日本史（山川出版社））

教科 地理歴史

の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的な考察や深い理解をするために、意欲的に学習に取りくむ姿勢を身に付ける。

科目 日本史探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解する。 ○諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	○我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。 ○歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	単元 近世から近代へ 【知識及び技能】 幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の掃蕩に至るまでの経過を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 江戸から明治に移り変わる過程を意欲的に学ぶ。	・指導事項 ・開国と幕末の動乱 ・幕府の滅亡と新政府の発足 ・教材 ・詳説 日本史 ・日本史通覧 ・ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	単元 近代国家の成立 【知識及び技能】 明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 近代国家成立の過程を意欲的に学ぶ。	・指導事項 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立 ・教材 ・詳説 日本史 ・日本史通覧 ・ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 国内体制を欧米の水準に合わせるものが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 明治維新が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
2 学期 (中間)	単元 近代国家の展開 【知識及び技能】 不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争、日露戦争、第一次世界大戦に至る経緯について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について意欲的に学ぶ。	・指導事項 ・日清、日露戦争と国際関係 ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制 ・教材 ・詳説 日本史 ・日本史通覧 ・ウイニングコンパス ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 議会在戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 社会運動の動向、政党内閣制の成立に至る過程を、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1

2 学 期 (期 末)	<p>単元 近代の産業と生活</p> <p>【知識及び技能】 日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 近代産業の発展にともなう社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 近代の産業と生活について意欲的に学ぶ。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 近代産業の発展 近代文化の発達 市民生活の変容 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳説 日本史 日本史通覧 ウイニングコンパス <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 近代の産業と生活について主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>単元 恐慌と第二次世界大戦</p> <p>【知識及び技能】 日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究する。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳説 日本史 日本史通覧 ウイニングコンパス <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 戦争がアメリカやイギリスなどの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
							合計
						105	

令和5年度 年間指導計画

東京都立雪谷高等学校

教科・科目	世界史B (必修・ <u>必選</u> ・自選)	対象学年	3	単位数	4	予定授業時間	105
教科書	詳説 世界史B 改訂版 (山川出版社)	担当者	福嶋 滋嗣				
副教材	最新世界史図説タペストリー(帝国書院)十八訂番、詳説世界史改訂版10分間テスト(山川出版社)、ウィニングコンパス世界史の整理と演習						

目標	<ul style="list-style-type: none"> ○古代諸文明の特色について、日本の歴史と関連付けて考察させる。 ○イスラーム、ヨーロッパ、内陸。東アジア世界の特色について、日本の歴史と関連付けて考察させる。 ○近世、近代、現代とのつながりを理解させる。
----	--

学期	時数	指導項目	指導内容
1 学期	40	<ul style="list-style-type: none"> ○先史時代 ○オリエントと地中海文明 ○アジアアメリカの古代文明 ○内陸アジア世界と東アジア世界 ○イスラーム世界の形成と発展 	<p>猿人・原人・旧人・新人と進化の過程を把握するとともに、それぞれの人類の名称と発掘地を把握する。新石器革命の人類史的意義を理解する。アラム・フェニキア・ヘブライの三民族の特徴を理解する。初めての世界帝国を築いたアッシリアの支配と、アッシリア滅亡後の四国分裂期を経てオリエントを再統一したアケメネス朝の支配を対比して理解する。ヘレニズム的性格を持った遊牧イラン人の王朝パルティアと民族主義的な性格をもった農耕イラン人の王朝ササン朝を対比する。イラン民族の動向をオリエント史の中で通史で理解する。地中海世界のなかのギリシア世界を地理的に把握する。ペルシア戦争とアテネの民主政の発展の関連を理解する。ヨーロッパ文化のルーツとして、ギリシア・ヘレニズムの文化を理解する。共和政、帝政ローマの歩みをギリシア文明と比較して理解する。インドの宗教的土壌を理解する。統一王朝の変遷をインドをとりまく世界情勢とともに把握する。</p>
2 学期	40	<ul style="list-style-type: none"> ○ヨーロッパ世界の形成 ○内陸アジア、東アジア世界の展開 ○アジア諸地域の繁栄 	<p>ゲルマン人の大移動以後の西ヨーロッパの混乱と、西ヨーロッパ世界の再構築の過程を理解する。東ヨーロッパ世界の形成を、西ヨーロッパとの対比して理解し、今日につながる民族と宗教に着目する。十字軍遠征にみる教皇権の伸長と、その後の衰退を皇帝権や都市の成長との関係において理解する。イスラーム文化の影響に着目して中世ヨーロッパ文化を理解する。宋代の中国の国際関係に着目しつつ、唐代の文化と対比して国粋主義的な宋の文化を理解する。</p>
3 学期	25	○世界史学習の総まとめ	大学入学試験にむけて総まとめ学習をおこなう。

評価の観点と方法	<p>評価の観点: 関心・意欲・態度・思考・判断・技能(資料の読み取り)・知識 方法: 定期考査・小テスト・ワークシート総合的な判断を行う。なお成績については各学期ごとに5段階で評価する。</p>
----------	--

令和5年度 年間指導計画

東京都立雪谷高等学校

教科・科目	世界史演習(必修・ <u>必選</u> ・自選)	対象学年	3	単位数	2	予定授業時間	60
教科書	詳説 世界史B 改訂版 (山川出版社)	担当者	船坂 良輔				
副教材	最新世界史図説タペストリー(帝国書院)、ウィニングコンパス世界史の整理と演習(とうほう)、詳説世界史改定版10分間テスト(山川出版社)						

目標		<p>○近現代の特色についてを扱い、共通テストや一般入試に向けた基礎力を身に付ける。 ○アジア・アフリカの植民地化や帝国主義・列強対立による二回の大戦の特色について、演習を交えて理解を深める。 ○古代・中世・近世とのつながりを理解させる。</p>					
学期	時数	指導項目	指導内容				
1 学期	22	<ul style="list-style-type: none"> ○19世紀ヨーロッパ各国の動向 ○19世紀のアジア各国の動向と植民地化 ○帝国主義の時代 	<ul style="list-style-type: none"> ○19世紀のヨーロッパの情勢と各国史を自由主義・資本主義・ナショナリズム・社会主義の文脈を軸に学ぶ。 ○19世紀より始まるヨーロッパ各国による植民地形成の流れを西アジア・南アジア・東南アジア・東アジアの情勢に触れつつ学ぶ。 ○ヨーロッパ各国による植民地拡大の結果生じた、帝国主義、帝国主義戦争を学ぶ。またロシアで発生した革命と社会主義の拡大について学ぶ。 				
2 学期	23	<ul style="list-style-type: none"> ○第一次世界大戦 ○戦間期のヨーロッパとアジア ○世界恐慌以後の国際情勢 ○第二次世界大戦 ○冷戦構造の展開と崩壊 ○各国各地域の現代史 	<ul style="list-style-type: none"> ○第一次世界大戦の展開について学ぶ。 ○第一次世界大戦後の国際体制、経済体制とアジア各地で興る民族主義的な運動について学ぶ。また一次大戦中に発生した革命により成立するソヴィエト連邦の成立過程と展開について学ぶ。 ○1929年の世界恐慌により、戦間期の国際的な政治的・経済的体制の維持が困難になる過程とその後展開される日本やドイツの拡大運動やアジア各地での独立・抵抗運動について学ぶ。 ○第二次世界大戦の展開について学ぶ。 ○第二次世界大戦後に構築された冷戦構造の展開から1989年の構造の崩壊までを学ぶ。 ○冷戦構造を軸に、ヨーロッパ、アメリカ、東アジア、東南アジア、南アジア、西アジア、アフリカと各地の戦後史を学ぶ。 				
3 学期	15	入試対策	○センター試験や共通テストの過去問や私立大学入試の過去問演習を通して、問題形式になれ、適切に設問に解答できるよう指導する。				
評価の観点と方法		年間4回の定期考査・演習等・小テスト。提出物により、総合的な判断を行う。なお成績については5段階で評価する。					

令和5年度 年間指導計画

東京都立雪谷高等学校

教科・科目	日本史B (必修・ 必選 ・自選)	対象学年	3	単位数	4	予定授業時間	140
教科書	詳説 日本史	担当者	田口 良				
副教材	図説日本史通覧、詳録新日本史史料集成、ウイニングコンパス日本史						

目標		<p>○原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>○中世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>○近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p>					
学期	時数	指導項目	指導内容				
1 学期	55	<ul style="list-style-type: none"> ○文化のはじまり ○農耕社会の成立 ○古墳とヤマト政権 ○飛鳥の朝廷 ○律令国家の成立 ○平城京の時代 ○平安朝廷の形成 ○摂関政治 ○荘園と武士 ○院政と平氏の台頭 ○鎌倉幕府の成立 ○武士の社会 ○蒙古襲来と幕府の衰退 	<ul style="list-style-type: none"> ○旧石器文化から縄文文化への移行とその違いを、具体的な遺跡や遺物について理解させる。 ○弥生時代の社会の変化を大陸文化の影響と関連付けて理解させる。 ○邪馬台国の呪術的宗教的権威と政治的権威を理解するとともに、その位置をめぐる論争の意義を理解させる。 ○大和政権の支配体制や古墳文化の各時期の特色を大陸から渡来した人々との交流など東アジア諸国との関係に着目して理解させる。 ○東アジア世界の動向や国内情勢の変化を背景に推古朝の改革、唐の影響の下に成立した日本の律令制度は、単に模倣ではなく、日本の実情に合わせて制度化されていることを理解させる。 ○平城京の時代を遺跡や遺物、文献などを基に考察し、支配領域の拡大や土地支配の強化などについて理解させる。 ○平安初期の政治改革を理解させる。 ○摂関政治が古代社会が大きく転換する中でとられた政治形態であったことを理解させる。 ○摂関政治が古代社会が大きく転換する中でとられた政治形態であったことを理解させる。 ○朝幕関係の二元的支配の状況が大きく変わり、朝廷に対する幕府優位の関係が生まれたことを理解させる。 ○武士の土地支配の拡大などについて、多面的に理解させる。 				
2 学期	55	<ul style="list-style-type: none"> ○室町幕府の成立 ○幕府の衰退と庶民の台頭 ○戦国大名の登場 ○織豊政権 ○幕藩体制の成立 ○幕政の安定 ○経済の発展 ○幕政の改革 ○幕府の衰退 	<ul style="list-style-type: none"> ○室町幕府の成立と展開について理解させる。 ○応仁の乱の意義を理解するとともに、戦国大名による分国支配の特色について理解させる。 ○諸産業の発達により庶民が台頭し、地域的な要素が強まり、自治的な惣村の形成や一揆の組織が成立したことを理解させる。 ○兵農分離政策や身分制度の形成など織豊政権が近世の政治・経済や社会の基盤形成に果たした意義を理解させる。 ○幕藩体制の確立によって成立した近世社会の特色について、世界の動向と関連付けて理解させる。 ○鎖国体制に至る過程やその影響、鎖国下でも関係のあった国や地域との交流の特色とその歴史的意義を理解させる。 ○元禄時代や正徳の治の具体的な政策を理解させる。 ○農業・商業の発展や陸上交通・海運の整備、貨幣制度などの具体的な発展とその特色を理解させる。 				
3 学期	30	○入試問題演習					
評価の観点と方法		年間4回の定期考査およびレポート等により、総合的な判断を行う。 なお成績については5段階で評価する。					

令和5年度 年間指導計画

東京都立雪谷高等学校

教科・科目	日本史演習（必修・ <u>必選</u> ・自選）	対象学年	3	単位数	2	予定授業時間	70
教科書	詳説 日本史	担当者	西 悠介				
副教材	日本史通覧、日本史標準問題集						

目標		<p>○現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。</p> <p>○現代史の流れを理解し、現代日本社会の成り立ちについて理解する。</p> <p>○大学入試の過去問演習を行うことで、大学受験に必要な知識の整理と問題形式に対応する力を養う。</p>					
学期	時数	指導項目	指導内容				
1 学期	22	<ul style="list-style-type: none"> ○55年体制 ○経済復興から高度成長へ ○経済大国への道 ○冷戦終結と日本社会の動揺 	<p>○日本の独立と日米安保体制の意義を冷戦や朝鮮戦争などの国際情勢や日本の地理的条件と関連付けて理解させる。</p> <p>○日本が国際社会に復帰したことの意義及び日本が国際社会において果たすべき役割を理解させる。</p> <p>○日本経済の高度成長による国際的地位の向上と外交問題などを関連付けて理解させる。</p> <p>○国民生活が多様化する中で、生活意識や価値観の変化が生じたことを理解させる。</p>				
2 学期	23	入試対策	○センター試験の過去問や私立大学入試の過去問演習を通して、問題形式になれ、適切に設問に解答できるよう指導する。				
3 学期	15	入試対策	○センター試験の過去問や私立大学入試の過去問演習を通して、問題形式になれ、適切に設問に解答できるよう指導する。				
評価の観点と方法		年間2回の定期考査・演習等により、総合的な判断を行う。なお成績については5段階で評価する。					

東京都立雪谷高等学校 令和5年度 教科公民 科目現代社会 年間授業計画

教科：公民科 目：現代社会 単位数：2単位

対象学年組：第3学年1組～7組

教科担当者：(1組～7組 百瀬雅治)

使用教科書：(第一学習社『高等学校 改訂版 現代社会』)

使用教材：(第一学習社『本質が見えてくる 最新現代社会資料集 新版』)

	指導内容	科目現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	第2編 現代社会と人間としての生き方あり方 第5章 現代の経済社会と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の主体と経済活動の意義，現代の経済社会の変容について理解を深める。 ・市場機構の機能と限界を理解し，市場の問題点を考察する。 ・個人や企業の経済活動における役割と責任について考察する。 	授業態度、提出物、課題	4
5月	第2編 現代社会と人間としての生き方あり方 第5章 現代の経済社会と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察する。 ・金融，政府の役割と財政，租税について理解を深め，日本の経済政策の方向性を考察する。 ・日本経済の現状がどのように成り立っているのか理解を深める。 	定期考査、授業態度、提出物、課題	8
6月	第2編 現代社会と人間としての生き方あり方 第6章 国際経済の動向と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の中小企業や農業の現状を理解し，その課題を考察する。 ・消費者の立場や権利を確認し，消費者保護について考察する。 ・公害の発生原因と対策を通して，環境への取り組みや循環型社会について考察する。 ・日本の雇用，労働，社会保障について理解を深めるとともに今後の在り方について考察する。 ・貿易に関する基本的立場の違いを確認し，国際収支表，外国為替市場を理解する。 	授業態度、提出物、課題	8
7月	第2編 現代社会と人間としての生き方あり方 第6章 国際経済の動向と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後の国際経済を概観し，理解する。 ・地域経済統合の目的やグローバル化する世界経済の現状を理解し，国際経済に与える影響や課題を考察する。 ・国際社会における貧困や格差について理解するとともに，先進国日本の国際社会で果たすべき役割について考察する。 	定期考査、授業態度、提出物、課題	2
8月	夏季休業			

	指導内容	科目現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	第2編 現代社会と人間 としての生き方あり方 第2章 個人の尊重と法の支配	<ul style="list-style-type: none"> ・人権の保障，国民主権，議会制民主主義，権力分立，法の支配など民主政治の基本原則などについて理解を深める。 ・大統領制や議院内閣制など代表的な政治制度について理解を深める。 ・日本国憲法の成立過程及び日本国憲法に定める基本的人権の保障について理解を深める。 ・生命の尊重，自由・権利と責任・義務，人間の尊厳と平等などについて考察する。 	授業態度、提出物、課題	8
10月	第2編 現代社会と人間 としての生き方あり方 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の行政，立法について理解を深める。 ・司法制度を理解し，法や規範の意義や役割について理解を深め，法意識を高める。 ・地方自治の意味を理解する。 ・政治参加の重要性と民主社会において，自ら生きる倫理について自覚を深めさせ，主権者としての意識を身に付ける。 	定期考査、授業態度、提出物、課題	8
11月	第2編 現代社会と人間 としての生き方あり方 第4章 国際政治の動向と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・国際法の意義について理解する。 ・国際連合の目的，平和と安全を維持する組織構成や取り組みを理解する。 ・第二次世界大戦以降の国際政治体制を理解するとともに，国際的な人権保障の現状を理解し，人権問題の解決について考察する。 	授業態度、提出物、課題	8
12月	第2編 現代社会と人間 としての生き方あり方 第4章 国際政治の動向と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・核軍拡競争の背景と核軍備管理と軍縮実現の方法を考察する。 ・日本の安全を守る安全保障政策について理解するとともにこれからの防衛政策について考察する。 	定期考査、授業態度、提出物、課題	4
1月	第1編 私たちの生きる社会 地球環境問題 資源・エネルギー問題 科学技術の発達と生命倫理 高度情報社会と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題について、よりよい社会を築くために解決しなければならない問題として考える。 ・資源、エネルギー問題への考察を通して、社会の在り方を考察する基盤を理解する。 ・科学技術の発達は、社会や生活をどのように変えてきたかを考え、理解する。 ・高度情報社会とは何かを理解し、情報化の進展が社会に及ぼす影響について考える。 	授業態度、提出物、課題	4
2月				
3月				